



北陽小

縦割り企画
～手紙で本の紹介をしよう～

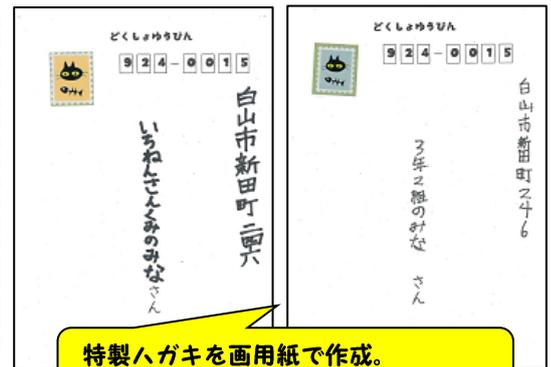
どくしょゆうびん

北陽小学校では、学期ごとに読書週間を設けています。読書週間中は、くじ引きやパズルなどの様々な企画を行っていますが、昨年度はコロナ対策でクラスごとの図書館の使用割を設け、通常の企画を行うことが困難となりました。また、児童運営委員会から縦割り企画として、図書委員会に「縦割り読み聞かせ会」の依頼が来ていましたが、こちらまん延防止を考慮し、実施を見送りました。

そこで代案として、『本の紹介を通して、縦割り学年の交流をはかること』を目的として「読書郵便」を全校で実施することとなりました。

《方法》

- ① 4・5・6年生は、ペア学年におすすめしたい本を選んで郵便ハガキ型のカードに書き、クラスでまとめてポストに入れる。
(4年生が3年生に・5年生が2年生に・6年生が1年生に)
- ② 図書委員がクラスに配達をする。
- ③ 1・2・3年生は、返事を郵便ハガキ型のカードに書く。
- ④ カードは一部展示する。



特製ハガキを画用紙で作成。
住所もちゃんと書きました。



①ポストに投函



ゆうびんです！

②教室に配達



手紙を読み合っています



③返事を書く

各教室で読んだ後、全校のみんなが読めるように、手紙は児童玄関前に掲示しました。



新年度になっても、新しい1年生のために1年生への郵便をお花と一緒に掲示しました。



紹介をハガキ形式で書くことを、子どもたちは思った以上に楽しんでくれたようでした。現在も図書館内で自由にみられるようにしてあるので、時折読んで楽しんでいる様子が見受けられます。

上の学年が下の学年を思って書いた読書郵便、みんなの心にしっかり届いたようです。(学校司書)

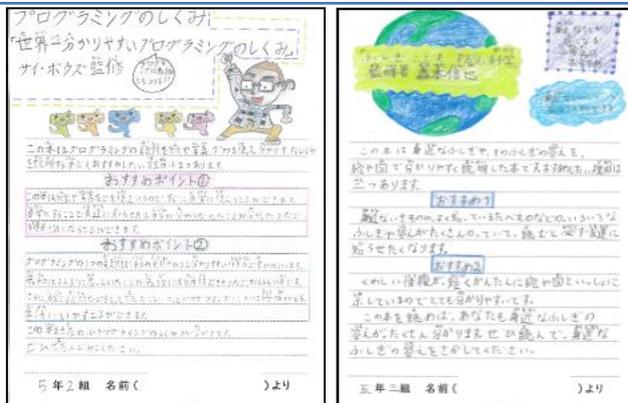
4年生は3年生に

「4年生になったら読んでみてほしい本」

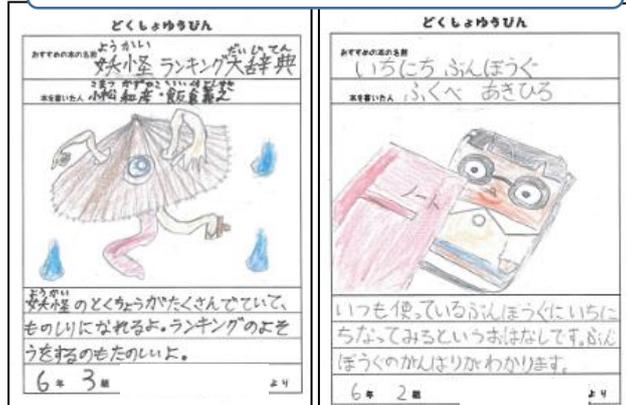


5年生は2年生に

国語「この本、おすすめします」教科書教材とつなげて



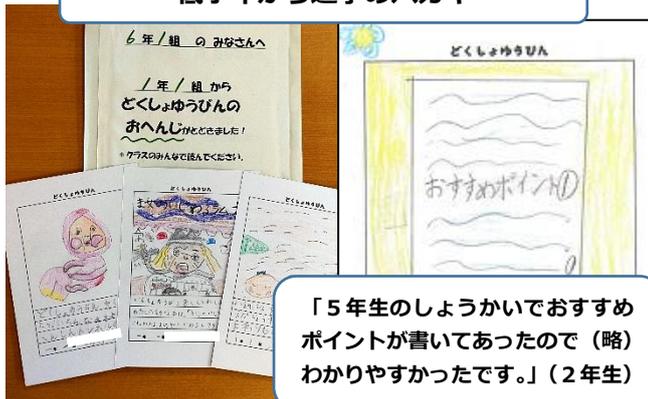
6年生は1年生に 「読んでみてほしい本」



5年生は国語科の「この本、おすすめします」の学習でく2年生が物語以外の本を手にとって読みたくなる推薦文を書こうという相手意識と目的意識をもって学習しました。本校の3年生の読書目標が「物語以外の本も読もう」であることから、5年生はこれまで自分が読んだおすすめの本を思い出したり、図書館で本を探したりしながら、3年生になった時に読んでもらいたい本を2年生のために選書していました。2年生に読みたい!と思ってもらうためには、見出しではどのような言葉を使うとひきつけられるか考えたり、推薦する理由を書くときには本を推薦する言葉の語彙を増やしたりしながら学習しました。簡単に書くところやくわしく書くところなどを考えてより伝わる表現になるように書くことができました。それぞれが書いた読書郵便を自分でポストに入れるときは、みんなとてもうれしそうでした。心のこもった読書郵便になりました。

(司書教諭・昨年度5年生担任)

低学年から返事のハガキ



先生文庫の感想をいただきました!

職員室にすぐ手にとれる本があるのは、ホッとでき心のゆとりにつながるものでした。仕事の参考になるもの、全く違う内容のもの…ともに、人生を豊かにしますね。 北陽小

『朝の光とともに、世界を巡る旅がはじまる』
美しい写真と文で、外国の美しい景色を見に行きたくなりました。 北陽小



実用書から小説まで様々な内容の本がセットになっていて、背表紙を見るだけでもワクワクしました。写真がたくさんあって見るだけでも楽しい本、じっくり考えながら読みたい本、それぞれあって4週間で入れ替えになるのが惜しいです。…でも、次にどんな本がくるのか楽しみでもあります。 白峰小

『ずっと読みたい0才から100才の広告コピー』さきった言葉3選!

- ・重荷があるくらいの方が、フラフラしなくていい。
- ・「女々しい」の意味を、「たくましい」にかえたい。
- ・オレは、痛みには強いが、優しさには弱い。 北陽小